

大学入試日程一部繰り下げ

文科省調整 推薦、一般は変更せず

新型コロナウイルス感染症による休校が長期化した中で、大学入試日程を巡り、文部科学省が、AO入試から改称した総合型選抜の出願開始日について、予定していた9月1日から2週間〜1カ月繰り下げる方向で調整に入ったことが15日、関係者への取材で分かった。

11月1日出願開始の学校 日実施の大学入学共通テスト 推薦型選抜（推薦入試から改称）と、来年1月16、17

始の一般選抜は日程を変更 議会を開いて正式決定する
しない方向で調整。全体の延期論もあつた入試日程の大枠が固まってきた形だ。いずれも、全国高等学校長協会（全高長）が国公私立高5276校を対象に実施したアンケートの結果を踏まえた。今月17日に高校や大学関係者らを集めた協議会を開いて正式決定する

方針。今後、感染が再び拡大した場合、共通テストの予備日を設けることなども検討する。

全高長のアンケートでは、総合型選抜について「2週間程度繰り下げ」を求めた回答が24.2%、「1カ月程度」26.4%、「それ以上」が2.8%で、計53.4%と半数を超えた。一方、学校推薦型選抜は計48.4%、共通テストは計30.9%、一般選抜は計30.6%にとどまった。総合型選抜の繰り下げ幅は「2週間」と「1カ月」で意見が分かれていると

から、17日の協議会でどちらが望ましいか判断する。その他の入試は日程を維持する一方、一般選抜で出題範囲を限定するといった配慮を各大学などに求めることで、休校に伴う学習遅れに対応したい考え。

ただ、全高長はアンケート結果公表後の13日、各地の校長の代表によるオンライン会議を開き、休校がより長期化した都市部の高校を中心に学習遅れが深刻だとして、入試日程全体の1カ月程度の繰り下げを求めると決めた。これに対し、国立大学協会の永田恭介会

6月16日(火) 神戸新聞分

総合選抜型入試を利用しようと思っていた人へ
このニュースに

- ① どう思い
- ② 延びそうな期間をどう利用し
- ③ 受験機会の利用でなくどう充実にさせて
- ④ 何を学びたいのか

この延びた期間に、どんな自分の熱を相手に伝えるか、伝えられるかを持ってこの時期を過ごそう。

長（筑波大学長）は15日に開いた同協会のオンライン会議で、共通テストや一般選抜は予定通りの日程が望ましいとの見解を示した。永田会長は、全高長がアンケートで少数派だった日程繰り下げを求めるとしたことについて「本当に高校現場の意見を反映しているのか危惧している」と不快感を示した。「大切なのは、早く受験生に日程を伝えることだ」と強調。学習遅れに配慮して、高校側の要望次第で出題範囲を限定することも、検討課題だと明かした。